

INTERVIEW

自治医科大学附属さいたま医療センター センター長
遠藤俊輔 先生



自治医大と卒業生が連携して、 臨床に強い医師の育成を

聞き手：山田隆司 地域医療研究所長

本学とさいたま医療センターの連携

山田隆司(聞き手) 今回は自治医科大学附属さいたま医療センターにセンター長の遠藤俊輔先生をお訪ねしました。現在コロナ対応でも大変お忙しいところお時間をいただきました、ありがとうございます。先生は昨年センター長に就任され、一度お会いさせていただいた際にいろいろ精力的に取り組んでおられることをお聞きしましたが、今回ぜひ改めてお話を伺いたいと思います。

まず、先生がここにいらっしゃるまでのご経歴を簡単に紹介していただけますか。

遠藤俊輔 私は筑波大学医学部出身ですが、当時勉強が好きな人は内科、あまり好きではない人は外科へという風潮があり、研修医試験が内科は

2倍ぐらいの競争率で成績がよくないと受かりませんでした。外科は手を上げると大体入れたので(笑)、私は外科の門を叩きました。

筑波大の外科は当時から非常に斬新で、今の専門医制度と同様、最初から所属を決めるのではなく、6月からの22ヵ月のコースの間で消化器や循環器、呼吸器などをそれぞれ2～3ヵ月回りました。

山田 外科を専攻すると2年間はローテーションということですね。

遠藤 はい。所属を決めてからローテーションする人もいますし、決めずに回ってその間に選ぶ人もいます。場合によっては他へ行く人もいます。私は、その頃肺癌が増えてきて多くの方々が亡

くなっているのを知り、そういった難治性疾患の外科をやりたいと考えて、3年目に呼吸器外科を選択しました。その後師事していた筑波大学の蘇原泰則先生の紹介でカナダのモントリオールに留学しました。私は大学でホッケーをやっていたのですが、モントリオールはアイスホッケー発祥の地なので、だからホッケーをやり留学した感じですね(笑)。血流力学の研究室で2年3ヵ月、ホッケーをしながら研究をして、その仕事で博士号を取りました。

留学中に蘇原先生が自治医大に転任されたので、私も帰国後に自治医大胸部外科教室の呼吸器に就職しました。それが1992年1月1日です。

山田 それからずっと自治医大ですか。

遠藤 はい、そうです。当時は胸部外科の中では心臓外科が花形で、呼吸器外科というのはどちらかというところとちょっと端っこに置かれていた感じでしたが、とはいえ、心臓血管の緊急手術などの手伝いもして、そういう意味では非常に新鮮でした。

その後10年くらい経って、外科が部門別に分かれて、呼吸器外科と心臓外科に分かれていきました。

山田 本学からさいたま医療センターに移られたのはいつですか。

遠藤 2005年です。当時の大宮医療センターの呼吸器外科が肺癌の症例数が増えてきたのに医師が定着しないということで、こちらをやってほしいという話がありました。本学にいて当時の私が憂えていたのが、同じ科でありながら大宮医療センターと大学の呼吸器外科が没交渉だったことなので、それでぜひ行かせてほしいと、2005年に着任しました。

山田 本学と比べるとこちらのほうが臨床にかなりシフトしている感じでしたか。

遠藤 ところが当時こちらは手術もあまりしていなくて、トータルでも年間50件程度でしたから、週に1回ぐらいでしたね。私がこちらに赴任して専属でやるようになって1年目は170件ぐらいになりました。外科の中で呼吸器の医師が1人いて、あとは消化器の医師が手伝うというような形だったので手術数が少なかったのです。

山田 専門性を発揮するような仕組みではなかったということですね。

遠藤 そうですね。あの頃、大腸外科の小西文雄先生が症例数を増やしていて、大腸がんは最終的に肺にくるので、呼吸器外科も必要だということで連携が始まりました。

山田 それから呼吸器外科も症例数が伸びたのですね。

遠藤 はい。小西先生はじめ当時の川上正舒センター長も、呼吸器として独立してやってよいと病院全体でサポートしてくれましたので、われわれとしては非常にやりがいもありました。医師会からは「おたくは循環器以外はあまりやらないはずではなかったか?」と言われてたりしましたが。

山田 大宮医療センターは開設当初地元医師会との軋轢があって、当時の中尾喜久学長も随分ご苦労されたと聞いています。でもそれを乗り越えて、今や地域のニーズに応える、なくてはならない病院になっているのだと思います。

先ほど、本学とこのセンターの連携がもともとはあまり密ではなかったと伺いましたが、今はいかがですか。

遠藤 今は密に連携しています。2008年に蘇原教授が退任され、私が後任として本学に戻ったのですが、そうするとこちらの方が心もとなくなるので、本学を3日、当センターを2日ということで、教授でありながら兼任システムでさせていただきました。それによって何がよかったか